

「わたし（イエス）の母とはだれですか。
また、わたしの兄弟たちとはだれですか。」
……「父のみこころを行う者はだれでも、
わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」

(マタイ 12 : 48、50)

ハレルヤ！ いよいよ、収穫の秋ですね。お祈りいただきましたサマーキャンプ、175名の皆さんと、今年も神さまの恵みとあわれみの中で、祝福のうちに終わることができました。「年々、ますます、神さまや深い交わりを求めてキャンプへ多くの皆さんが来られて、すごくいいですね。私も、個人的に、こんなにたくさんの方とゆっくり話せたのは、初めてです」とは、ピリポ・ブローマン前園長の感想。ご参加&お祈り、ありがとうございました。15日に終わりましたチア・オリンピックも、過去最高の235名の皆さんと、キリストにあって、楽しく、心身を鍛錬する良き機会が与えられました。チア・オリンピックの詳細は、次号でお伝えしますね。白馬セミナーへの準備も真最中です。今年もさらに深い神さまの油注がれ、祝福多き白馬セミナーとなるように、ご参加&お祈りいただければ幸いです。

チア・にっぽん代表 稲葉寛夫

桑谷美穂事務局長の チア卒業&新たな歩みへ

今年のチア・キャンプの成立の舞台裏で、立役者の大きな犠牲がありました。10年半に亘って、チアの展開に尽力し、中心になって担ってくれていた桑谷美穂事務局長を、今月末に円満に送り出すこととなりました。最終的には僕の決断で、僕としては、武者修行&花嫁修業に出す思いです。特に、この4年半、チア事務局長として、ほとんどの仕事の責任が桑谷さんに集中し、バーンアウト寸前でした。でも、持ち前の責任感と優秀な能力で、的確に切り盛りしてくれていました。ただ、ぎりぎりの状況を頑張り続けてきていて、限界もあり、チアとしても甘えてしまうところがあります。本当の限界が来る前に、ここで新しい環境に送り出すことが、長い目で、桑谷さんのためにな



桑谷美穂事務局長、チア・10年半から、「卒業」—花嫁&武者修行へ

るだろうということでの僕の判断です。本人はチアの仕事はもちろん大好きで、継続希望でしたし、送り出すのは辛い面もありますが、未来志向で行こうとの決断でした。

桑谷さんは、北大文学部在学中、三浦綾子さんの作品を通してイエスさまに関心を持ち、クリスチャンとなりました。リバイバル新聞に就職後、2000年春、立ち上がったばかりのチア・にっぽ

んの担当記者として、チャーチ&ホームスクーリングムーブメントを積極的に取材し、何度も1面トップの特集記事を掲載、日本全国への拡がりを後押ししてくれました。その後、小学校の教員に導かれますが、チアでの書籍出版が大きく動き出すことになり、編集・校正を助けてくれました。校長先生たちが勤務継続を願う中、その小学校の教職を断って、正式にスタッフに加わり、フルタイムで活躍してくれることになりました。超マルチの賜物を生かし、マガジン取材・編集、ニュースレター・レイアウト、会計、白馬、コンベンション、キャンプ、オリンピックほか企画の準備とマネージメント、全国映画試写会、カナダ5ヶ月ホームステイ、東北ボランティア、書籍出版ほか、全ての責任を担っていました。

10年めに向かう昨年あたりから、疲れも出ていたので、今年の夏キャンプは少し休んでもらう必要があるだろうという思いもありました。今年3月には、12回めとなる明泉でのチア・キャンプはお休みし、丸森の皆さんの猪苗代湖キャンプへの合流案をほぼ決定し、準備を始めていました。前号でお伝えした通り、4月に入り、5家族の初参加の皆さんからの問い合わせが続き、桑谷さんは「今年、継続開催するのが神さまのみ旨では」と進言してくれ、その後、関係スタッフの皆さんと相談して、チア・キャンプの開催を決断しました。

その決断により、桑谷さんは、コンベンション直後、休む間もなくの準備が必要となりました。それは予想通り過酷で、桑谷さんの疲労もピークを超えていて、夏キャンプも休んでもらいました。本人は、継続してのチアでの勤務を希望してくれました。しかし、僕の未熟さもあり、今のままでは数年後、本当に燃え尽きて、精神的につぶれさせてしまうかもしれない、今なら、桑谷さんはこれまでのチアでの体験を生かして、さらにグレードアップした新しい展開ができる時と思いました。その意味で、これまでの身を粉にしての労苦を感謝しつつ、新しい環境に送り出すことが、桑谷さんの人生

にプラスになるだろう、これは神さまも願っているのでは、、、という思いが与えられ、今回の決断となりました。

今、秋のマガジンの編集や、新スタッフへの引き継ぎ作業を心を込めて、丁寧に進めてくれます。神さまは、桑谷さんの文字通りの献身的な働きを通して、全国の多くのご家族に励ましとチャレンジを与え、救いや希望を与えてくださったと思います。10年に一人ともいえる人材で、超マルチで働いてくれました。労をねぎらうことの少なかった未熟な上司として、反省と共に心から感謝している次第です。桑谷さん、本当に自己犠牲の心と共に、よくやってくれたと思います。皆さん、どうぞ、桑谷さんへの神さまからの大いなる報いと、今後の歩みの上にさらなる祝福が増し加えられるよう、お祈りいただければ幸いです。

サマーキャンプ祝福の中で

そのような代償と共に、開催に至った今回のサマーキャンプです。神さまは豊かに祝福してください、開催は、桑谷さんが感じた通り、やはり御心だったと思い、良かったと思っています。4月に開催の決心をさせてくれた5家族は、なぜか、皆さんにご事情が生じ、参加できなくなりました。でも、多くの初めての皆さん（例年以上に割合多かったです）、久しぶりの皆さん、そして、毎年、家族の記念企画にしてくださっているリピーターの皆さんと、神さまに導かれた方々が参加くださ



LIT ! 目的、ますます明確に、全国の模範めざして

り、喜んでくださいました。

「こんな日本の若者たちがいるのか」。初めて来られた方が、LITのティーンたちの働きぶりを見て、コメントを残してくれました。LITは今年も早々と満席となり、10数名のウェイティングリストの皆さんはユースセッションへ、そして、LIT参加は来年以降にまわってもらうことになりました。選ばれた24名（丸森から6名の応援団を含めると30名）の皆さん。「働くこと」「神さまと人に仕えること」「神さまの弟子の心をいただくこと」等を目的として、集まってくれました。これまで何度もLITに参加し、その心や姿勢、目的を深く理解し、大変さをわかった上で応募したメンバーが多く、中軸をよく担ってくれました。スタッフからは、「年々、LITの目的意識がはっきりとしてきている気がする。よくわかった上で、参加し励んでくれている」と、とても評価が高かったです。

6日間のミッションを終えたLITの一人は、言いました。「すごい充実。すべてに無駄がない。やっていることの一つ一つの目的がわかっているの、とても楽しかったし、有意義だった」。実際、仕事を頼むのが本当に楽でした。皆、喜んで、自ら走りだし、全力で仕事をしてくれます。その思いがキャンプ全体にも伝わっていったと思います。もちろん、未熟さや不十分なところもあったとは思いますが、でも、6日間に亘っての魂を込めた奉仕に、「体も心も疲れたけど、心地よい」「LITの姿に、自分の子どもたちもそうなってほしいと思った。日本の将来の希望を見た」といった感想が多数、寄せられました。でも、「本番は、キャンプが終わった、これから！ 褒められる時が一番、危ない時。ますますキリストの弟子として鍛えられ、神さまにあって成長していくことを祈ろう！」と、みんなに伝えました。15年めを迎えたチャーチ&ホームスクーリング、年々、主にあって鍛えられたティーンの数が増えてきて、今後がとても楽しみです。

新企画に挑戦

「噂には聞いてましたが、ダイナミックさに圧倒されました。子どもも本当に喜んで、、、」。ウォーターファイト、乗馬、Tシャツ染め、滝つぼジャンプ&水遊び、バーベキューほか、例年の良さを残しながらも、今年は様々な新しい企画に挑戦し

ました。

丸森の皆さんとの交わりの時間をゆっくりと取り、「ノリさん」や「テモテさん」の家を開放してもらってオープンハウスも実施しました。60年余り、自分に死に、十字架の福音を掲げて歩いてこられた伝道者の皆さんからの話しも伺いました。高校生の時に、日本で伝道者の皆さんと出会い、福音伝道に生きることを決意した馬場豊さん（81）も、その一人です。

日本での伝道体験の後、25歳の時に、チームでラオスに渡り、以後、生涯を海外伝道に身を投じます。1960年代、ベトナムとの国境地帯で伝道中、共産ゲリラに拉致され、他の二人と共に拘束されます。当時、ベトナム戦争に本格的に軍事介入し、激戦を続けていたアメリカの依頼を受けたスパイとの嫌疑で拘束され、3ヶ月に渡り、死と生の境を彷徨うこととなります。銃口を向けられながらも、ゲリラ兵に福音を語るチャンスも与えられたともいいます。残されたチームの伝道メンバーは、3人が殺害されたことも覚悟しつつ、必死に搜索し、ラオス軍の情報部員らを通して、拉致の状況を知らされます。当時、クリスチヤンの大平正芳外務大臣（当時）の率いる外務省等に働きかけ、朝日新聞らの報道等も続く中、3ヶ月後、馬場さんたちは奇蹟的に解放されます。その後、ラオスは共産化され、チームはタイに移動。以後、馬場さんは昨年帰国するまで、タイ伝道に身を献げます。そのあたりを短く紹介した上で話し、マイク



聖書と伝道に命をかけて、60余年

タイから戻った馬場 豊さん

を渡しました。

すると、「ラオスでは、良い体験をさせていただきました」とさらりと言われ、なんか面白くて、みんなで笑いました。

「ガラテヤ書 1 章 4 節から。『キリストは、今の悪の世界から私たちを救い出そうとして、私たちの罪のためにご自身をお捨てになりました。私たちの神であり父である方のみことろによったのです』。御存じの通り、今は墮落した悪い時代です。私たちは、神さまのあわれみと恵みで、悪の世界から救い出されました。でも、子どもたちは、将来どうなるか不安がありますね。私はこの世は泥沼だとみなしています。詩篇 40 篇 2、3 節。『私を滅びの穴から、泥沼から、引き上げてくださった。そして私の足を巖の上に置き、私の歩みを確かにされた。主は、私の口に、新しい歌、われらの神への賛美を授けられた。多くの者は見、そして恐れ、主に信頼しよう』とある通りです。ローマ人への手紙には、以下のように書かれてあります。『この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみことろは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい』(ローマ 12 : 2)。

あるクリスチャンは、『神よ。どうぞ、私に名誉と賞賛を与えてくださいませんように』と祈ったといいます。私たちは誉と名誉のある、しかも高給取りの立派な社会人となるように、子どもたちを育てていくのでしょうか。そうすれば失敗します。創世記の 5 章にエノクが書かれています。『エノクは神と共に歩んだ』とあります。エノクのように、神と共に歩む生涯、キリストに仕えていく生涯、その生涯をぜひ歩んでいただきたい。神と共に歩む道、それは神が最高に喜ばれる道です。チア・にっぽんの皆さんも、周囲には未信者の方も多く、きっと信仰の戦いがあるに違いないでしょう。しかしどうぞ、弱り果てないで、

聖書のみことばに従って、みことばによって強められて、子どもたちの将来に大きな期待をかけ、精進なさってください。がんばってください。がんばり通してください」

続いて話してくださったのが、ディック・ノーマンさん。米軍三沢基地で勤務中、三沢基地に伝道に来たポール・ブローマンさんらと知り合います。そして、伝道チームへと合流し、半世紀を共にします。ルカの福音書 18 章の神さまが嫌われたパリサイ人の祈りと、喜ばれた取税人の祈りについて聖書から読まれました。

「取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようともせず、自分の胸をたたいて言った。『神さま。こんな罪人の私をあわれんでください。』あなたがたに言うが、この人が、義と認められて家に帰りました。パリサイ人ではありません。なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。」(ルカ 18 : 13、14) 丸森でも、このような問題がありました。私たちは、みんな罪びとです。深い罪に入らなくても、やはり罪びとです。神さまへの祈りは、基本的に一つしかないのです。『どうか、主よ。私の罪を赦してください。あわれんでください』とね。チアの皆さん、この悔い改めの祈りと共に、がんばってください。私も皆さんのことを陰ながら祈り、心から応援しています」

その後、引退された他の伝道者の皆さんも加わって交わりの時が設けられました。語ってくださったことはもちろん、何を語るかだけでなく、





スポンジ駅伝で疾走！

聖書と伝道に命をかけた、その生き様が、多くの皆さんにインパクトを与えたようでした。

丸森での交わりの時間、並行して、新しいゲーム、「スリップ&スライド」が行われました。コンベンションに続いて、ゲーム&ビデオ係を担当した娘のエミリと、味付けしてくれた丸森チームの皆さんとのコラボワーク。アメリカで今、大人気の新しい団体ゲーム、4つが準備されました。第一弾の「スリップ&スライド」は、予想以上の迫力！丸森の土手が急こう配で、距離も長く、しかも丸森チームが石鹸の泡をたくさん流してくださったので、すごいスピードが出ます。子どもはもちろん、大人がガンガン楽しめるゲームにグレードアップされました。キャンプ本番に先立つLITの準備期間中、LITが盛り上がりつつ挑戦し、実験済だったので、ケガをさせないポイントもよくわかり、大成功でした。

最終日は曇り時々、雨。でもチアらしく、雨にも負けず、明泉グラウンドでグループ対抗・ビッグゲームの3連発！ゲーム第二弾は、ウォーターボール・スウイングショット！ウォーターボール（ヨーヨーの水球）を少年ダビデのように、大型のパチンコ（スウイングショット）で飛ばし、段ボール箱に当てるゲームです。少年ダビデが、熊や、ライオン、ゴリアテを倒した方法に似ていま

す。ウォーターボールは、うまく飛ばせば、100 m近く飛んでいきます。これもLITでのリハーサルの時は、段ボールを70メートルぐらい先に置いたので、なかなか当たらないことがわかり、10メートル先から含め、グラウンドの各地に段ボールを置き、当たればポイントと改善しました。そのおかげで、小さい子どもたちもずいぶんポイントゲットでき、作戦成功！、盛り上がりました。

第三弾は、スポンジ水浸し駅伝。額のハチマキにスポンジをはさみ、50 m先のバケツに頭から突っ込み、水を浸して帰ってきて、水を絞り、次のランナーに渡す駅伝レースです。これも、スポンジが目のかぶさって見えない中、走らなければならない、大うけでした。みんな早くて、将来、ホー

爆笑・反則その1！
Tシャツ浸して、水量アップ20点のペナルティ！

ムスクーラーチームで「箱根駅伝」に出られたらいいなと思いました。各チームに面白い反則も生じ、ペナルティ続出！競技の結果、(ワニチーム)水の軽量の時、グレース先生がビン底の砂も入れて水量をふやそうとした(3点マイナス)、(クマチーム)梶山大くんがバケツに逆立ちしてTシャツを水に浸し、その分の水も増量させた(20点減点)、(イヌチーム)キャプテンの瀧山知秀さんがバケツに顔全部を突っ込み、口を水でパンパンにして、ひょっとこみたいな顔でみんなを爆笑させつつ、ゴールし、増量させた(イヌチームは体力とスピードに恵まれ、1位でゴールし、水量も1番でしたが、ペナルティとして50%マイナ



急斜面で、予想以上のハイスピード！ー スリップ&スライド！

その愛情込められたウォーターボール合戦で、また、雨中ラグビーの泥も落としつつ、サマーキャンプの「まとめ」のウォーターファイトも、とても楽しいものでした。「今年のサマーキャンプ、一層、グレードアップしてた！」との声も多数寄せられ、神さまに感謝しました。ご参加、お祈りありがとうございました。

ス)。ちなみに、瀧山キャプテンは、一番みんなを大爆笑させてくれたということで MVP 賞を獲得しました (^_^)。

団体ゲームの第4弾は、「激突！ ビッグボールプッシュ！」。直径約2m半のゴムの大玉を、ジャッジの「8歳から10歳」などの声と共に、該当者が走り、四方から押して、自分の陣地にゴールインさせたチームが勝つというルールです。これもLITリハーサルの教訓が生きました。最初は、屋内で考えていたのですが、激しいプッシュでボールが猛スピードで押され、応援で見ていた武浪ジョアブ君の逃げ場がなくなり、壁にふき飛ばされました。「大丈夫か？」と聞くと「大丈夫じゃなーいです」と痛がりました。「これは危ない。200人近くが屋内で見守ったら、もっとリスクが出てくる」と反省し、屋外へと変更しました。「ビッグボールプッシュ」の時は、雨も本格的になり、泥だらけの激闘ゲーム。まさに雨のラグビー大学選手権か、昔の「青春ドラマ」の「青春って何だ！」とか「夕陽が丘の総理大臣」みたいになりました。すごく楽しかったです。

最後は、シャワーも兼ねて、今回準備した1600発の「ウォーターボール」の残りをを用いての「ウォーターファイト・アゲインー ウォーターボール、1600発の余り合戦」です。1600発のウォーターボールは、LITが夜遅くまでがんばって作成しました。



滝つぼジャンプ！勇気&ダイナミック！



福音に心を澄ませる未来の勇士たち！「希恵ちゃんが、イエス様が十字架の上で死んで、罪の身代わりになってくれたと言ってたんだよ！」(A君 5歳)

虐待と聖書に立つ懲らしめとの違い

9月からの新学期に合わせて、新しいホームスクーラーが起こされています。そんな中で、Gさんから、学校・教育委員会、またご両親への説明時に、「虐待ではないのか」と疑われた場合、どのように説明すべきか、問い合わせをいただきました。とりあえず、以下のように答えました。

基本的に、今、マスコミ等で報道されている虐待と、聖書に基づく懲らしめは、まったく違います。タバコを押し付けたり、暴力をふるったり、食事を食べさせなかったり、ネグレクトしたり、親の短気や見栄や感情、自己中心による暴力等は、体罰であり、虐待です。これは絶対に避けるべきもので、子どもたちのために親が犠牲となり、命がけで教育に取り組むホームスクーリングの理念とは、真逆のものです。聖書に基づく懲らしめは、上記の虐待や体罰とはまったく異なります。「懲らしめ」は、親が気分で動かず、冷静であること、論理的で一貫性があることが絶対条件です。そのため、時間を30分ずらしたり、1日ずらしたりするケースもあります。

懲らしめには、3つのステップが必要です。最初のステップは、善悪のラインや、懲らしめ（聖書に基づく愛のムチ）が必要な基準を、事前に教えていて、日ごろから、子どもたちが十分理解し、納得していること（子どもに教えておくポイントとして、たとえば、「親への反抗的な態度や嘘をつくことについて、聖書はどのように命じているか」、

また、スパイク等、愛のムチについて、「聖書が、親の責任とミッションとして命じていることであり、親に任せられていること」を伝えます。親としても、神さまに従順になる必要もあり、また、愛するがゆえに、子どもたちのために思い、問題に直面し、懲らしめを行う必要があること等を、子どもたちが理解するまで伝えておきます。)

「むちを控える者はその子を憎む者である。子を愛する者はつとめてこれを懲らしめる」(箴言13:24)

「愚かさは子どもの心につながれている。懲らしめの杖がこれを断ち切る」(箴言22:15)。

2番目は、問題が生じた時に、事実関係をしっかりと確認すること。試験の点数が悪かったとか、なにか意図せずに、間違っただけミスした場合については、スパイク等は行いません。意図的な悪い行動、それまで教えてきた懲らしめのラインを意図的に違反していること等については、子どもと再確認し、納得させた上で、親が冷静な状態で懲らしめを行うこと。場所は、お尻、太ももの裏等、ケガをしない場所。ケガを避けるため、手等でかばわせないこと。お尻や太ももの裏等以外に行いません。愛情を示すべき親の手とかではなく、聖書が示す通り、杖等を用い、本人が泣くほど痛くすること。回数を先に教えると、がまんして耐える場合があり、単なる罰になってしまい、悔い改めにいたらないので、回数は言わないこと。痛みを耐えて、その場をしのがせるのではなく、これはかなわないと降参して、我を張って、悪い自分を正当化していた心が折れるまで、スパイクする

こと。「望みのあるうちに、自分の子を懲らしめよ」(箴言 19 : 18)「むちと叱責とは知恵を与える。わがままにさせた子は、母に恥を見させる」(箴言 29 : 15)

3番目として、心からの悔い改めがあった段階で、イエスさまの完全な赦しを感謝し、お祈りしてハグして終わること。それ以後は白紙とし、後日、「あなたは、前にもこうしたじゃない」と何度も持ち出すことはしない。悔い改めのあとは、心から抱きしめてあげ、その後は、すっかり白紙で、二度と繰り返して持ち出すことはしない。そして、親子で神さまに感謝して、子どもを一層、愛し、前向きに歩む、、、といった点です。

親の身勝手な虐待、興奮状況での体罰とはまったく違う、聖書が教える愛のムチの理念を示すことで、懲らしめの本質を伝えることができると思います。Gさんからは、さらに、「学校側から、机といすはそのまま教室に置きたい旨の連絡があり、どう対応したらいいでしょうか」等の質問ありました。次号以降、やり取りをご紹介できればと思っています。

再び試練、足の指・骨折！

最後に私事ですが、サマーキャンプのウォーターファイト開催中、足の人差指を骨折と診断されるケガをしてしまいました。ウォーターファイトで、初参加の方々には、周辺で少し遠巻きに見ておられる方が多く、例年、僕の使命と感じ、その方々に歓迎の心を込めた、バケツの水をかけてまわりまわす。今年も張り切ってかけて、中央の激戦地に戻ろうとしたところ、足に痛みが走り出しました。道路の側溝に、水を流すための鉄の格子の網があるのですが、そこに足の指を引っ掛けてしまったようです。さほど痛みはありませんでしたが、みるみる腫れてきて、親指に近いほどになり、キャンプの同じグループの中に、介護士さんがおられ、「病院で診てもらった方がいいですよ」とアドバイスくれました。

それで、乗馬の時間に整形外科に行きました。お医者さんは、「レントゲンではよくわからないけど、これだけ腫れて出血していれば、多分、骨折でしょうね。靭帯の損傷だけでも考えられるけど、この腫れ具合は、骨折でしょう、、、。爪が支えになりますので、ギブス等は必要ないです。クリーム

を出しておきますので、3週間か1ヶ月で治ると思います。それまで走らないでください」

これは本当に大ショックで、悲しかったです。4月に木から落下して痛めた、背中・腰の痛みがほぼ99%良くなり、3ヶ月の安静を経て、7月末ぐらいから、ようやく走り出したところでした。それでも、7キロ走を5回、15キロ走とか4、5回できて、ケガする前のように、ほぼ走れるようになったところでした。その直後のケガです。チア・オリンピックも1ヶ月後、また、2回めとなるフルマラソンも10月中旬に考えていました。なのに、、、。

「(稲葉) うーん。実は1ヶ月後に、陸上の大事な大会(チア・オリンピック)があるのですが、、、」「(医師) 1ヶ月したら大丈夫です。出られますよ」「(稲葉) そうですか。でも、かなり本格的な大会なので、ぶっつけ本番は無理で、事前の練習も必要なので、、、。いつごろから練習していいでしょうか」「(医師) 痛みが無くなったら走ってもいいですよ。2、3週間かな、、、」「(稲葉) そうですか。泳ぐのはどうですか」「(医師) 泳ぐのは、大丈夫ですよ」ということで、塗り薬を処方されました。

水泳はOKということで、キャンプ中や、その後の丸森の皆さんとの猪苗代湖キャンプ等では、1日3キロぐらい泳いでいました。でも、痛みがとれたのは、実際は1ヶ月後。チア・オリンピックの数日前でした。そこで教えられたことについては、次号、お伝えします。

聖霊が与える伝道への心

家族としては、うれしいことがありました。夏キャンプ、また、その後、合流させていただいた丸森の皆さんとの猪苗代湖でのキャンプをへて、エミリが「ダディ、路傍伝道に加わってもいいか」と言ってきました。「ここ数年、加われなかったし。このタイミングがチャンスだと思う。伝道、楽しいし。行きたいし、行くべきだし、行かなければと思う！」とのことでした。「それはいい案だよ。意味あることだから、その方向でいこう」ということで、映画チームの許可をもらって、帰国を遅らせることにしました。

「5日間ぐらい加わる?」「それは短い。(10月11日に大学のセンター試験があるから)リミットもあるけど、今回、ミニマム2週間は行きたい!」

「そうか。それはいいこと。では、2週間で頼んでみよう！」となりました。伝道の想いというのは、聖霊が与えてくださるのだと思い、とても大事で良いことと思います。

丸森の皆さんからOKをいただき、チア・オリンピック翌日の今日からちょうど始まる静岡での伝道に加わせていただくことになりました。他にもチアのティーンたち3名が加わることになりました。丸森の皆さんには、伝道で大変なところ、さらなる苦勞をかけることになるのですが、計4名、伝道に加えてもらっています（夏もいろいろなティーンたちが、伝道チームに加わって訓練を受け、お世話になりました）。これは、チアの目的の伝道・世界宣教に直接、関わってくることであり、とてもうれしいことです。

キリストのみこころを行う者は、 誰でも家族（マタイ 12：50）

相変わらず、山あり、谷ありの歩みであり、悲しみも喜びもあります。でも今、新しく送り出す桑谷美穂事務局長や、新たに加わってくださる皆さんも含めて、聖書に立つ教育の旗のもとに集まる皆さん、「キリストのみこころを行う者」は誰でもチアの家族であり、励まし合っていく必要を、以下のイエスさまのみことばをかみしめつつ、示されています。

「わたしの母とはだれですか。また、わたしの兄弟たちとはだれですか。」それから、イエスは手を弟子たちのほうに差し伸べて言われた。「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。天におられるわたしの父のみこころを行う者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」（マタイ 12：48－50）

この後、弟子たちが、伝道したり、失敗したり、裏切ったりすることも知りながら、でも、その後、赦され、聖霊の力を受けて飛躍していく弟子たちを、イエスは家族と呼んでくれました。そして、「天におられるわたしの父のみこころを行う者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです」と宣言してくれました。「だれでも」ということで、山あり、谷ありの私たちも、失敗や失望があっても、神さまに喜ばれたいと思って、イエスを信じ、悔い改めつつ従っていこうとする私たちを、「父のみこころを行う者はだれでも」家族と呼んでくれ



ています。それゆえ、皆さんと、キリストにあって天国を目指す家族として、共に喜び、悲しみ、寄り添い、励まし合っていければと祈っています。イエスが、十字架でいのちを投げ出してくださったほどの大切な「キリストにある家族」です。

「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。」（ガラテヤ 2：20）

桑谷美穂さんの新しい出発への祝福をお祈りください。また、来たる白馬セミナーにぜひ、皆さん、ご参加くださり、この山あり、谷ありの、簡単ではない歩みを励まし合い、私たちのうちに生きておられるキリストによって強めてもらい、チャレンジし合っていければと祈っています。どうしても今年、無理であれば、どうぞ、特別に祝福をお祈りください。

皆さんへのますますの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

チア・にっぽん 励ましとチャレンジセミナー 2014 in 白馬

11/20 (木) - 22 (土)

ホテルグリーンプラザ白馬 (長野)

- ◆家族のきずなの回復。そして、教育の原点、聖書に立ちかえる体験
- ◆北欧調リゾートホテルで和洋中60種類以上のバイキング
- ◆11種の温泉
- ◆徹底学習 (約50の基調講演・分科会)
- ◆家族・教育の目的、情報、励ましとチャレンジが与えられる!
- ◆家族・チャーチスクール・仲間との一生の思い出!

基調講演者

デボラ・ベル博士 Dr. Debra Bell (教育心理学)



ベストセラーで各賞受賞の「究極のホームスクーリングガイド」、「ティーンと母のための究極のホームスクーリングガイド」ほかの著者。元大学の英語講師。デボラ博士と夫、カーメットさんは、4人の子どもたち全員を、幼稚園から高校卒業までホームスクーリング。4人とも結婚し、キリストの弟子として、それぞれの使命を果たしている。テンプル大学から教育心理学博士を授与され、ホームスクーリング全般、また、特に、子どもたちの「学習意欲」「やる気」を起こさせる方法への研究を重ね、1980年代から全米で用いられている。オンラインスクール、サポートスクールを通してのサポート活動にも情熱を注いできた。

ジョイス・イノウエ チャイルドD代表 Joyce Inouye MA. Ed.
(学習障害)

チャイルドD (学習障害 (LD)、ADHD 等への聖書に基づくサポート団体) の代表。学習障害の専門家として36年。3人の子を育て、2人の視聴覚の情報処理困難を診断、訓練、克服し、大卒、ミニストリーへと羽ばたかせる。カリフォルニア州立大学院 LA 校特別支援教育修士課程卒。フレズノ・パシフィック大、チア・カリフォルニア等で、特別講師。クリスチャンスクール400校余りをネット。3年連続、白馬セミナーに登場!



★ 早期申込特典 ★
「聖書に基づく教科書」
「単行本」等プレゼント

11月4日までにお申込み＆入金済みの大人の方に、「聖書7」「聖書10」「聖書11」（各3,024円）、「りか1」「りか2」（各2,376円）、「ちょっぴりホームスクーリング考えてます?」「チャーチ&ホームスクーリング入門」「カウンセリングのためのクイックバイブル」（各1,728円）、「レガシー」（2,036円）、DVD 聖書、マガジン10冊（1冊540円）の中から、いずれか1種類、もれなくプレゼント！
大人2名分で各教師用ガイドもOK！

大好評！ LIT
（リーダーズ・イン・トレーニング）
& ユースセッション

LITではキリストの弟子として子どもたちを助けていく訓練を受けます。（14歳以上、24名限定）

LIT以外の13歳以上のティーンを対象としたプログラムも昨年に引き続き、計画中です。新しい出会い、喜びに満ちた楽しいプログラム！ こそってご参加下さい。

ご希望者はパンフレットのお申込書でお申し込み下さい。

第9回 チア・にっぽん杯
読書感想文大会 募集中！

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。昨年も22作品の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております！

- ◆対象作品：チア書籍（どれでもOK）、あるいは三浦綾子作品（どれでもOK）、
「ソウル・サーファー」「イエスさまと十字架」「明泉学園の聖書絵本」もOK
- ◆部門：（1）幼稚園の部（200～600字） （2）小学生の部（400～1600字）
（3）中高生の部（800～2000字） （4）一般の部（800～2000字）
- ◆締切：11月7日（金）
- ◆発表・授賞式：11月20日（木）夜7時 白馬セミナー会場（予定）
- ◆送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「読書感想文係」
（※メールでも受け付けています → office@cheajapan.com）

第8回「グランプリ！大会」開催！

自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、白馬セミナーで開催します！！ 白馬でもキットを販売しますので、2日目夜までに完成させての参加もOKです（500円）。参加資格は、今年度制作のレースカーです。

昨年に引き続き、今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月7日まで。郵送先はチア事務局へ（白馬参加の皆様はご持参ください）。作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。

レースカーキットは、誰でも作れます。形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチ必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こそってご参加ください！ 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ！

現在、キットの申込を受付中です。ご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、希望個数を明記の上、メール（office@cheajapan.com）、またはFAX（03-6862-8648）でお申込みください。

チア・にっぽん杯 読書感想文大会 2013 受賞作品 1

第8回 小学生の部 チア・にっぽん最優秀作品賞

「ヤムイモのもんだい」

森山 満音

ヤムイモのもんだいを読んで感じたことは、まず最初に、人生とヤムイモを育てるのは、よくにているということです。「ヤムイモのもんだい」で、「せんぞの霊にいのる」と書いてあるところがたくさんあります。人生では、神様を信じるか、それとも信じないかという二つの道があります。「ヤムイモのもんだい」でも、神様にいのって育てるか、せんぞの霊にいのって育てるかという二つのやり方があります。

神様においのりするというのは、何より力があると思います。ぼくが三年前に白血病になったときにも、いろんな人がいのってくださいました。それでいのりを通して、神様がぼくの白血病をなおしてくださいました。

しかし、それは、いのりの力だけではありません。それは、神様が力強い方だからです。このように、人生でいろんなことがあっても、「ヤムイモのもんだい」のように、最後には、ヤムイモを食べることができる、つまり、しょうりを得させてくださいます。

ぼくは最後まで神様にしがたいです。

「ヤムイモのもんだい」
(ホームスクーリング・ビジョン刊)
グロリア・レップ著

パプアニューギニアに住むクリのお父さんは、祖先の霊たちに祈らずに、ヤムイモを植えました。長老は、「ヤムイモはおきてにそって祖先の霊たちに拜んでから、植えなければならぬ」とつめよります。しかし、お父さんは「創造主である神さまは力強い」と宣言します。そして、彼は、イエス・キリストの名前で祈り、植え続けます。

クリは長老が正しいのかもしれない、と思わずにいられませんでした。彼はお父さんのように、神さまだけを信頼することができるのでしょうか？



フェリーチェ玉村国際小学校
Felice Tamamura International School

小学校
教師の
募集



来春4月開校 私立フェリーチェ玉村国際
小学校は、聖書教育をベースとした英語バ
イリンガル教育の小学校です。

 **FELICE** TEL 0270-75-6600
〒370-1102 群馬県佐波郡玉村町飯塚 328
http://felice.ed.jp

チア・にっぽん杯 読書感想文大会 2013 受賞作品 2

第8回 中高生の部 チア・にっぽん最優秀作品賞

「いばらの生け垣」を読んで

森山 佳音

今年の夏のサマーキャンプでは、たくさんの恵みを受けて帰って来ました。LITとして、たくさん仕えられて良かったです。帰って来てふと、へりくだらないと心から仕えられないな、と思いました。特に丸森の方々が心から仕える姿に、自分は高慢だったな、なぜそうだったのだろう、と。「いばらの生け垣」はその答えをくれたのです。

ジョンは、幼い頃から神様に従うように教育され、道徳的な生活をしていて、自分でも良い人間だと考えていました。それなのになぜ、彼は自分に与えられた生け垣を破ろうとして傷ついてしまったのか。それは、ジョンが高慢になり、善い行いはしているけれど、信仰が頭の中にあって、自分の思いに従って行こうとしていたからではないかと思います。

まさに私の心の状態でした。自分を正しい人のように感じ、神様を知っているから大丈夫だ、と。でも、私が完璧なはずはなく、小さなことでも何度も失敗して、なぜ、とっていましたが、この高慢さが原因だと気づかされました。神様は本当に憐れみ深いお方です。

「悪者はおのれの道を捨て、不法者はおのれのはかりごとを捨て去れ。主に帰れ。そうすれば、主はあわれんでくださる。私たちの神に帰れ。豊かに赦してくださるから」(イザヤ書 55 章 7 節)

さらに、ジョンの父が息子に語る場所でもはっとしました。自分に与えられた道を忍耐強く歩む人には、全能の父によって与えられた生け垣を祝福として受け取れる、と。

私にもいばらの生け垣は色々ありますが、それも全て祝福に変えられていることに気づきました。この世の楽しみも少しはしてみたい。そう思っても両親にノーと言われ、葛藤することもあります。でも、「父がかわいがる子をしかる」(箴言 3 章 12 節)のように、私のことを愛し、滅びてほしくないからノーと言うのだ、ということが伝わってきます。だから最終的には従うことができます。神様が両親、という生け垣を置いて下さったことによって、どれだけこの世の罪から守られていることでしょうか。神様に感謝です。

神様に心から従う時、犠牲が伴うけれど、イエス様が人間の罪を贖うためにどれほどの犠牲を払って下さったのか。十字架にどれほどの神様の愛と、赦しと、癒しが表されているのか。その事を考えた時、私も自分に与えられた道を忍耐強く、へりくだって、喜んで歩いていきたいと思います！

「いばらの生け垣 — ジョン・キャロルの手記」

(ホームスクーリング・ビジョン刊)

マーク・ハンビー 編 内田みずえ 訳

22歳で急逝した著者の聖書に遺されていた手記。2世紀にわたって欧米で読み継がれ、人々の心に刻まれてきた名著が日本でよみがえる！すべての世代の人生が変わる、珠玉&感動のメッセージ。





初のビッグボール・プッシュ！— 雨中のラグビーみたいな壮絶な闘いに盛り上がった

大人編

★初参加でしたが、子どもと共に、いろいろダイナミックな体験ができ、家族でとても恵まれました。感謝でした。すごく良かったです。(東京 平野一郎)

★稲葉さん、スタッフのみなさん、LITのみなさん、お疲れ様でした。ありがとうございました。丸森のみなさんに会って本当にうれしかったです。みんなの支えで、チアが大きくなっていて、感謝です。大阪からのチャーターバス出してください、感謝でした。子供たちにも友達ができて、すごく楽しんでいました。(京都 Aさん)

★今回も、とても楽しく充実したキャンプで本当に感謝でした。新しく来られた方や、これからホームスクールを考えておられる参

加者の方々と交わりも与えられて感謝です。明泉学園の皆様と親しい交わりを持っていただき、有益なお話を聞けてとても励まされました。桑谷さんに今回はお会いできなくて淋しかったです。また次回よろしくお願ひします!! (^ ^) (東京 Bさん)

★初参加でした。たくさんの楽しいプログラムがあり、子供達もとても楽しんでいました。いろいろな体験をさせてもらい感謝です。

スタッフ、LITの皆さまの奉仕に心から感謝します。素晴らしい働きぶりでした。食事がどれもおいしかったです。ありがとうございました。(山形 Cさん)

★新しい企画のゲーム、とても楽しかったです。3回目の参加でしたが、参加する度に、自分を軌道修正できます。感謝します。1年

ぶりに会う子たちの成長ぶりに励まされました。ピリポさんのお話、馬場さんとディックさんのお話が聞け、生涯を捧げきってキリストの栄冠を受ける方々の言葉が、かけがえのない宝となりました。稲葉さん、エミリさん、ジョセフくん、LITの皆さま、明泉の方々ありがとうございます。(Dさん)

★主の為に人に仕えるスタッフの方、LITのメンバーに励まされています。丸森の方たちの温かい交わりが出来た事感謝です。新しい企画も大人、子供、沢山楽しみました。本当に感謝します。(東京 赤津裕治)

★稲葉さんのホームスクーリングセミナーで質疑応答しながら教えていただき、気持ちが整理できて良かったです。ホームスクーリングをする姿勢をはっきりさせて、

主の前に希望を告白、祈りつつ取り組んでいきたいと思いました。(Eさん)

★初参加です。岡山から着いたとたん、すてきなキャンパス、宿泊施設に感激しました。手際よくすべてのことが進行していて、自分が助けられている幸せを感じました。スタッフ・LITの皆さんに感謝しながら楽しめるキャンプ最高でした。イエス様へ向かう心で、1つになれることを実感できました。(岡山 森明子)

★初めてですごく楽しみにしていました。同じ年頃の人と話して交わることができて本当に感謝です。ありがとうございました！(Fさん)

★LITのお兄さん、お姉さんたちが生き生きと奉仕したり、交わる姿に感動しました。とても、清くて、まぶしくて、神様の弟子めざしてるんだなあと、若くて主の働きができるのがうらやましかった。まだ、幼児ですが、わが子たちもこのように信仰生活過ごしていけばいいなと思います。初参加のわが子たちがとっても楽しく過ごしていて、それが嬉しかったです。(島居曜子)

★3日間本当に楽しく過ごすことができました。子供達ばかりでなく、親達も本当に楽しませて頂きました。毎日の水遊び、そして3日目のゲームと真剣に取り組ませて頂きました。ピリポさんのメッセージは今の自分に本当に必要な



初のスリップ&スライドに大人も子どもも大興奮！
すごいスピード出ます！

みことばでした。稲葉さん、明泉の皆さん、丸森の皆さん、チアの皆さん、美穂さん、麻里さん、市川さん、LITの皆さんありがとうございました。(Gさん)

★初参加させていただきました。大学に入ってから教会に行くこともあまりなくなり、同年代のクリスチャンとの交わりも少なくなっていたので、今回参加できて本当

に良かったです。色々な活動も楽しませていただきました。また、バイブルタイムもピンポイントに必要な事が語られた気がしました。非常に有意義な時間を過ごせました。(神奈川 Hさん19歳)

★毎回ですが、とっても素晴らしいキャンプでした。やはりスタッフ、LITのみなさんの仕える姿には本当に頭が下がりました。同じ

行動をして疲れているはずなのに「ゆっくり休んで下さい」と声をかけ、さて私たちはこれから・・・と次のプログラムの準備へと・・・です。ここまでできるのは神様を恐れて仕えるということの表れだと感じました。

トーマスシャワー快適で、お湯の温度とシャワー圧がちょうどよく気に入りました！！ブラインドを閉めるのに苦戦していたら、どこで気付いたのか、LITの子が走ってやりに来てくれました。感激しました！ぜひ来年の開催も・・・祈ります。

チアの方々に色々とお世話になり、4月からスタートを切ることができました。すでにやめる！と挫折しかけましたが、毎日、こんな繰り返しでいいの？！の連続です。キャンプで色んな方とお交わりして、たくさんの励ましを受け力をもらいました。(岩手 杉浦 みちる)

★4年ぶりのキャンプでしたが、子供に戻った気分を楽しめました。LITのすばらしい働きが印象的でした。いろいろと考慮してくださったことも感謝です。また、ホームスクーラーとの交わりもできてうれしかったです。(岩手 杉浦義也)

** LIT & こども編 **

★とにかく楽しかったです。友達もできていろんな人と話ができてよかったです。イエス様と更に近づけた気がします。すごくあたたかい気持ちになれました。こんな



目的が明確だったLITたち — よく、がんばりました！

に楽しくて大きなキャンプを計画して下さってありがとうございました。(埼玉 松沢喜歌 17歳)

★神様がLITとして参加させてくれて本当に感謝です。2回目で仕事に慣れ、とても充実しました。特に嬉しかったのは、LIT達との時間。ただ単に集まって来たのではなく、主にある家族、兄弟姉妹みたいな感じでした。問題があってもぎっくばらんに分かち合っただけだったり、ディボーションの時はディスカッションをしたり・・・と本当に良い時間を持ってました。何よりも神様を愛し喜んで仕えるという環境で働けたのは大きな恵みです！ありがとうございました！(森山佳音 14歳)

★凄く楽しかった。小さい子といっぱい遊べたし、LITとしてそれなりに働けたと思う。来年もスリッパ&スライドしたいです。(松岡恵悟 14歳)

★良き交わりができた。将来のこ

とで少し悩んでいたけど、お互いの将来のことを話し合うことで、神様との関係などを見つめることができた。初めてのLITで緊張したけど、楽しく過ごすことができた。一週間がすごく短く感じた。(横田瑞貴 14歳)

★とても楽しすぎた。今回は新しくやったゲームとか、スリッパ&スライドとかが斬新で、とても良かった！！約、一週間あっという間だったけど、色んな事が充実してて、またLITをしたいなって思った。後、夜のお交わりTimeで、将来の事や、普段話せない事を、たくさん話せて、(神様が中心にいる会話)でよかった。サマーキャンプ、またしたいな・・・。(飯島真珠 16歳)

★去年、おととしに続き、LITは3回目だったんですけど、今回も色々教えられたこと、感じたことありました。色んなホームスクーラーの話も聞けて、すごく励まされました。(今井洋 14歳)

今回も LIT として参加させていただきました。本当に色々学ぶ事が多く、特に丸森の方々から聞いたメッセージを通して励まされました。LIT の仕事はすごい大変でしたが、将来のための訓練と思ってがんばりました。(波場瑛 15 歳)

★今回は前回より楽しくて、LIT たちと一緒に交わり、お話、特に聖書の話をしたことがとても良かったです。来年、もっと時間を取って交わりたいです。(武浪軍 中2)

★今回もすべてが楽しかったです。特に1年待ってから参加出来た、ティーンナイトがものすごくおもしろかったです！前は小6だったので、私は参加できなかったのですが、全部が全部おもしろくて、来年もぜひ参加したいと思いました。夜のかくれんぼやワインスタジオ見学が特に楽しくて、スタジオでリフトに乗ったり、天井に上がった事が出てとってもうれしかったです。最終日の対抗戦もとても楽しく、ものすごくうれしかったです (^_^)

友達もたくさん来てうれしいです。来年は多分、最後の子供として(再来年は LIT で参加したいので)の参加だと思うので、思い切り楽しもうと思っています！ティーンナイトも今から楽しみです (^_^)

LIT のお兄さん、お姉さんがとってもかっこよくて、私

もあんな風になりたいなと思いました。楽しいキャンプをありがとうございました。希恵さんの飛び込み教室も参考になりました。(伊澤響子 12 歳)

★はじめてチアの行事に参加して、すごく楽しかった。また来たいです。LIT の人達が、奉仕をしているのを見て、楽しそうだし、見習いたいと思いました。今までにないすごく楽しい3日間でした。恵まれているなと思いました。今度は、LIT としても参加してみたい。自分と同じくらいの中学生や高校生の人達が、自分から進んで奉仕していたので、すごいと思いました。(岡山 森朝子 13 歳)

★すごい楽しかった。友だちと仕事することもすごく楽しくてまたやりたいです。先輩の話と、大人の聖書の話聞いてすごくよかった。みんなの伝道について意見を聞いてよかった。今回のサマーキ

ャンプ最高でした。来年も来て、人の話を聞いたり、たくさん手伝いたいと思います。(バナイヤ ブローマン 中3)

★楽しかった。もっとイエスさまのことをしりたくなった。(岩手 すぎうら いぶき 6 歳)

★楽しかったです。(高倉みのり 8 歳)

★はじめてきました。たのしかったです。ウォーターファイトしたことと川に行けたことがうれしかったです。ごはんもとってもおいしかったです。おともだちとあそべたこともうれしかったです。また来たいです。ウォーターファイトや、クラフトをまたしたいです。(きたはら よしあき 6 歳)

★バーベキューで竹の上にソーセージをのせて火の上で焼くのが楽しかったです。(東京 ひらの こうき 7 歳)



コンベンション 2014 アンケート Part2

大人編

●ジムさんの基調講演から、神様のビジョンは自分の想像よりもはるかに大きいことに気づかされ、今までよりも大きな目標に目を向けるチャレンジを、私へのメッセージとして受け取りました。ジョイスさんと、今年21歳になる娘さんとの本当に豊かな美しい親子関係、姿を見せていただいて、将来の祝福に期待が高まりました。アンケートを書きながら、コンベンションで受けた恵みを夫婦2人で分かち合う中で生まれる新しい気づきがあります。コンベンション2014は終わりましたが、その余韻によって示され、教えられることがとても大きいです。(神奈川 高倉幸子)

●念願のコンベンションデビューをしました。これからのホームスクーリングを行う上での良いヒントを頂きました。(神奈川 南雲信幸)

●とても良いコンベンションで、講演からたくさんのお話を学びました。チア・にっぽんのお働き、素晴らしいです！(Aさん)

●とても良かったです。励まされました。神様に焦点を合わせ続けることを再確認しました。子ども



東京コンベンション2014にて

を祝福することの大切さを知りました。スタッフの皆様、チルミニ・スタッフの皆様のお働きに心から感謝します。基調講演すべて良かったです。(Bさん)

●毎年、毎年、参加度に新たな気持ちにさせて下さいます。また、為になる情報を頂き、ホームスクーリングはもちろん、これからの信仰生活、教会生活にも役に立てていきたいと思いました。スタッフの皆様、いつもありがとうございます。お疲れ様でした。(千葉 越川澄子)

●ホームスクーリングでの勉強を通して子どもの学習面での問題に気づかされ、その意味でもとてもタイムリーなテーマが多く、様々な助けと気づきを与られました。勉強だけにとどまらず、親子の関係のうちに神様の介入と、ご計画があることを教えられました。御霊に満たされたクリスチャンがどんどん社会に出て行き、神

様の栄光をあらわすべきという言葉に大変励まされました。(埼玉 菊地あかり)

●毎日、あっという間に1日が終わり、「今日もこれだけしかできなかったー。あれも、これもできなかった」と思うことが多いのですが、でも、こんな家庭の中での小さな働きも、社会の変革にまでつながっていくのだと、励まされて良かったです。

子どもを祝福することも大事なんですね。お嬢さんを祝福するジョイスさんも素晴らしかったですけど、それを素直に受け取っているお嬢さんの姿ってなかなか見られない光景ですね。

いつも本当にありがとうございます。感謝です。丸森の皆様も、いつも変わらず、ずっとあたたかい心で支えて下さって、本当に頭が下がります。ご一緒に歩んで下さって、本当に嬉しく思っています。(Cさん)

●特に、具体的な教育法について、たくさんの示唆をいただきました。本当にありがとうございます。(千葉 佐藤哲彰)

●参加できて、とてもよかったです。ひとつひとつの講演がとても素晴らしく、特にカレンさんの分科会によく参加したのですが、励まされました。ジムさんの講演で「恐れて隠れてはいけない」という言葉を聞いて、はっとさせられました。やっぱり私は人の目を恐れている、と。自分がぬるいクリスチャンであること、それでも神様は吐き出さずに、今は励まそうとしておられることに感謝させられました。(Dさん)

●孤独に陥りやすい現状の中で、同じ志を持つ家族が集まり、励まし合える場が与えられ、横のつながりの大切さを毎年のことながら再確認させて頂き、感謝でした。講演を通して、もう一度、初心に戻ることもでき、目標がぶれないよう、また進んでいきたいと思われました。LITに初参加させて頂いた息子も、チルミニスタッフの皆さんの人格に感化され、“あんな大人になりたい”と言っていたことも、とてもうれしいことでした。

ジムさんは、近い将来を具体的な形で考える良い参考になりました。漠然と考えていた留学という選択肢に色がついた感じです。カレンさんが娘さんのことを真実に分かち合って下さったことも感謝でした。覚えてお祈りしたいと思います。ジョイスさんのあわ

れみに満ちたご人格からあふれる一挙一動にも教えられることが多かったです。祝福のお祈りにも感動しました。子どもに対する自分の態度も反省

させられ、家に帰ってから、あやまりました。(大阪 伊藤こずえ)

●去年は産後間もない時で、参加できず、全講演入りDVD(2013)を聞いて、それも良かったです。今回、待望の参加がかない、深い感動と神さまからの愛に心打たれ、神さまに従って歩もうという気持ちでいっぱいです。赤ちゃん連れで蒸し暑い天気でしたが、託児してもらえたおかげで、ずいぶんラクに参加させてもらえて、非常に感謝しています。託児&母子室の場所は大きな要素で、乳幼児のおられる方々にも、小さい子がいて大変だから参加は無理…ではなくて、大変だからこそ参加したらいいよ〜と声がけしたいと思いました。

チルミニ、5歳の長男はすごくうれしく参加していました。あまりに楽しかったのか、食事中もそわそわして、早く次のセッションに行きたいというほどでした。(Eさん)

●素晴らしい。いつも励まされます！勇気づけられました。(山形 高倉新喜)



大阪コンベンション2014にて

子ども & LIT 編

●絵画の作品が皆とても上手でした。チルミニのメッセージの「種まきのたとえ」で、特にいばらにまかれた種の話が心に残りました。この世のものにまどわされないようにしたいです。(高倉光稀 10歳)

●今までチアコンベンションだけは苦手だったけれど、今回初めてチルミニ運動会が大好きになり、チアの行事全てが大好きになりました。(伊澤慎太郎 8歳)

●とても楽しかったです。聖書のお話も良かったです。(藤本道子 10歳)

●ゲームとつなひきとはたとりが楽しかったです。後、ユースのはなしも聞いて、楽しかったです。(辻創 12歳)

●今回初めてLITとして参加しました。とても楽しかったです！仕える喜びを感じた2日間でした。次のチアイベントが楽しみです。(辻アンナ 14歳)

試写会受付中！

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」 「アメイジング・グレイス」の無料試写会 & DVD 販売会 (少人数 OK) 主催されませんか！ 大好評受付中！

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」「アメイジング・グレイス」については、チャ・ア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社、ハピネット社に申請する道が開かれています。まずは資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、3作品からの大いなる福音伝道の業が広がっていくことを心から祈らせていただきます。詳細・問い合わせはチャ・ア・にっぽんまで (Eメール: office@cheajapan.com FAX: 03-6862-8648)。申し込み詳細は、HPでもチェックできます (www.cheajapan.com)。お申し込みをお待ちしています。

聖書的・家族的作品、開催して良かった！という声が、多数寄せられています (下記 & チャ WEB www.cheajapan.com をご覧ください！)

少人数でも OK、無料です。主催してみませんか。教会などの公の場で視聴することは、残念ながら、違法行為です。許可を得ての上映には、通常、数万円から十万円以上のコストがかかります。でも、一人でも多くの方に見せたい聖書的な作品があります。正式に、しかもコストをかけずに上映の場を！ということで、与えられた方法が、「無料試写会 + DVD 販売会」という方法です。DVD の販売案内が映画配給会社と交わされた条件ですが、ノルマはありません。それで、下記の教会やクリスチャン団体で好評のうちに、展開が進んでいます。与えられた3作品は、どれも励まされ、福音の窓口となる優秀な作品です。このチャンス、逃すことなく、皆さんもトライされませんか？

<上映した教会よりアップデート No. 46 京都 宇治福音自由教会 「フェイスング・ザ・ジャイアント」>

- ・とても後味のよい映画でした。実話に基づいたストーリーと聞きましたが、アメリカンフットボールのようなスポーツと信仰や祈りとをどのように結びつけるのかと思いました。迫力がありました。主に感謝します。(70代 男性)
- ・ハラハラ、ドキドキ。映画でこんなに必死になったのは久しぶりでした。喜んだり、涙したり、映画なのに一生懸命、応援しました。最近こんな感動した映画はありませんでした。
- ・悩める若者たちにこの映画がもっともっと広まってほしいです。(60代 女性)
- ・感動的な映画でした。み言葉が生きて働いて

いる、またそれを素直に受け容れて行動に移す姿勢が素晴らしいと思いました。サクセスストーリーで、スカッとしました。(60代 女性)

- ・こんなに神のみことばが出てくる映画は初めてです。この映画を通して神には不可能はないと信じることができます。(70代 女性)
- ・思い通りにならない困難な時にも神が臨在してくれることを改めて知った。(40代 男性)
- ・神、イエスを信じると、不可能はない。ずっとこれから信じ続け、負けても、勝っても神を信じ続けよう!! (70代 男性)
- ・感動的でした。神を知らない方々がもっと見られる機会があると良いと思います。ストーリーが解りやすく、神様のことがよく理解できるのではないかと思います。

♪ ボイス&メール ♪

Voice & Mail



☆ 6月6日に第三子が与えられました。イザヤ書 55章 11節の御言葉から、神の約束は必ず成就することを信じて歩んで欲しいと願い、「成(じょう)」と命名しました。上の2

人の娘たちが良く面倒を見てくれるのと、最愛の夫の協力や家族のサポートがあり助けられています。新しい家族共々、よろしく申し上げます。

谷井 涙賀・玲子

☆いつもありがとうございます (東京・東久留米市 Aさん)

☆映画試写会のためにありがとうございました。(東京・足立区 Bさん)

☆昨日、高認の結果が来て、合格証明書を頂きました！お祈り・ご指導をありがとうございます！合格できたのも主の恵みです。与えられた時間とこれからに向かってまた新たな目標を定めながら進んでいきたいと思いますが ご報告まで m(____) m (神奈川 Cさん)

☆ニュースレター、ありがとうございます。(倉敷市 Dさん)

☆ 7月22日に元気な女の子(第3子)が与えられました。名前は衣吹(いぶき)です。「主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れた。」(創世記 2:7)

「そう言って、彼らに息を吹きかけて仰せになった、「聖霊を受けよ。」(ヨハネ福音書 20:22) 神さまの命の息吹によって授かった命、どんな試練もイエスさまの衣にすぎり、二千年前と同じ聖霊の息吹を受けて育てて欲しいという願いを込めました。

気づけばホームスクーリング歴も5年。チア・につぼんと共に歩んだ道のりを振り返り、恵みと感謝で溢れます。久しぶりの赤ちゃんの誕生に長男(10歳)と長女(8歳)は小さな命を目の前に笑ったり、戸惑ったりと毎日たくさん可愛がってくれます。



皆さまの暖かいお祈りに心から感謝します。チアオリンピックでは主人と子ども達がお世話になるかと思えます。子ども達は、1年で1番楽しいのがチアオリンピックだそうです！

神奈川 明井 陵平・淳子

☆マガジン等、ありがとうございます (北海道・本別町 Eさん)

☆祝福ありますように (大阪・狭山市 Fさん)

☆キリストの御名で克服する力を与え、愛の指導者として国を助ける歩み、感謝しています。(愛知・みよし市 Gさん)

☆コンベンション全講演DVDありがとうございました。早速、少しずつ、聞かせていただき、感謝しています。(さいたま市 Hさん)

☆お世話になっています。(愛知・豊中市 Iさん)

☆いつもありがとうございます (東京・大田区 J教会)

☆白馬、参加したいと祈っています。7年間、チアのセミナーに参加し、いろいろ学びましたが、HSを始めると、さらに違う必要が出てきました。家族そろって白馬セミナーを楽しみにしています。チアスタッフの一人おひとりの上に豊かな祝福と守りがありますよう、チアにつぼんを通して、神様の働きが進みますよう、お祈りしています。(神奈川 Kさん)



サムエルさん ジェポーさんと結婚！おめでとう！

チルミニ等でお世話になったサムエルさん、伝道地のタイで出会った伝道者、ジェポーさん（カンボジア伝道チームと合流して6年半。お父さんは20数年前からタイ伝道チームと交流）と、8月23日に結婚されました。おめでとうございます！幸せいっぱいのお二人、ビザ等の関係で、11月には、来日予定。今年の白馬セミナーへの参加を検討中です。皆さん、お祈りください！



さすが、タイ！虎にもさわれちゃう！
(このトラ君、生きています！)

DREAM CANADA

5 カ月ホームステイ in カナダ

第 18 回 (2015/2 月～7 月予定)

カナダの雄大な大自然に囲まれながら英語を学習し、神様との関係も深められると好評の DREAM CANADA 留学プログラム。スキー、乗馬、ゴルフなど盛りだくさんのアクティビティや、クリスチャン教育も充実！ 地元カナダのクリスチャンスクールの生徒さんとも交流を持つことができ、さらなる英語の実力がつけられます！

第 17 回プログラム (2 月 4 日～7 月 6 日) を無事終えた波場瑛君 (15) より、レポートが届きましたのでご紹介します。詳細についてのお問い合わせは、チア・につぼん事務局まで (Eメール: office@cheajapan.com)。

「ドリームカナダでの体験」

波場 瑛

カナダ出発の日、雪の影響で飛行機の出発が 2 時間ほど遅れましたが、無事に着くことが出来ました。

最初の 2 ヶ月半はコモックス、後半の 2 ヶ月半はサーモンアームで過ごしました。コモックスは冬はかなり寒く、サーモンアームは夏は過ごしやすかったです。向こうではクリスチャンスクールに通いながら英語などの勉強をしました。

今回のグループには 28 人の韓国人と、僕を含め 2 人の日本人 (井上光君) が参加しました。全ての韓国人生徒と完全に打ち解けるには 2 ヶ月位かかりました。着いた日から約 1 週間、僕の家泊まりに来た 3 人の韓国人の男の子たちとはすぐ仲良くなることができましたが、他の子たちはもうグループで固まっていたのでその輪の中に入るのが難しかったです。実際 1 人の男の子はすごい強い性格の子で接するのが難しかった時もありましたが、その子とも打ち解ける事が出来ました。そしてみんなも少しずつ心を開いてくれて仲良くなる事が出来ました。

コモックスでは一番下のクラスで勉強していましたが、サーモンアームに移ってから先生に提案されて、一気に一番上のクラスに移りました。僕にとっては難しく感じましたが、良かった事は宣教について学べた事です。特にパウロの宣教旅行について学びました。最後は自分の宣教体験、または宣教について思うことをシェアし合いました。僕はチアを通して行った東北ボランティアで体験した事をシェアし、良い機会となりました。

アクティビティも日本ではあまり体験出来ないような事をしました。スキー、アイススケート、乗馬、アーチェリー、ボウリング、カヤック、テニス、アイスホッケー等、あくまでこれらは一部でもっとたくさんの楽しいアクティビティを経験する事が出来

ました。

今でも忘れられない思い出は学校からのミッションで自分たちでお金を稼いだことです。僕と井上君は通っていた教会でコンサートを開きました。僕がドラムを弾き、彼がギター、もう一人がピアノで 280 ドルを得ました。そのお金はアフリカの子供たちのために寄付されました。

学校のクラブでは Worship club に入り、チャペルの時間の賛美をリードしました。

ホストにも心から感謝します。自分の子供のように愛し、良くしてくれました。サーモンアームのホストの家は目の前に湖があり、大きな家だったので学校行事がそこで行われるほどでした。学校から帰ると、芝刈り、薪運び、湖の掃除など仕事が山ほどありました。

ホストとは 2 回、学校の代表の先生とは 1 回、カリブーという、サーモンアームから車で 4 時間ほどの場所に行った事もあります。どこ行ってもカナダは大自然で普段都会に住んでる僕にとっては素晴らしい時でした。なによりも神様に心から感謝したいと思います。

大変な時も、神様に助けを求めるといつも神様は助けてくださり、さらに成長させて下さいました。そして神様への日記を通してさらに神様のことを深く知り、もっと神様を愛したいと思いました。

今回の留学を通して神様のみことばをもっと深く自分のものとして体験することが出来ました。神様との新しい出会いがありました。大自然を見ると、神様の素晴らしさに圧倒されて自分の問題が小さく感じます。本当にカナダに行けて良かったなと思います。こんな素晴らしい計画を神様が用意してくれて、神様への感謝しかありません。祈りを持って送り出してくれた家族、Dream の関係者の皆さん、またサポートして下さったチアに感謝します。

チア・にっぽん カレンダー

●白馬セミナー 2014

11月20日(木) - 22日(土)

◆ホテル・グリーンプラザ白馬(長野)

●チア・コンベンション 2015

・大阪 2015年6月5日(金)、6日(土)

・東京 2015年6月12日(金)、13日(土)

★コンベンション講演・分科会 CD・DVD ★

83講演を収録したコンベンション講演DVD(コンピューター用・mp3版)には、特典としてジム&カレン・ストーリー夫妻、ジョイス・イノウエさんらの講演のパワーポイントデータも入っています。

お申込みは、チアホームページ、またはチア事務局へ! 定価 6800円(税込)。

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P

定価: 本体 2,000円 + 税

柏崎良子医師のマリア・クリニックにおける治療を、症例、検査の意味と意義、治療法、発達障害になる原因分析、治療の手順など詳細に記載しています。



好評発売中

お問合せ: 株式会社ヨーゼフ

Tel: 043-207-6035 Fax: 043-207-6036

メール: info@yozeph.com ホームページ: http://yozeph.com

<本の内容>

序文. 発達障害や精神障害の治療を願って

I. 発達障害から良くなった子供たち

II. どのように治療をするのか

A. 治療の枠組みと方法

B. 発達障害についての私たちの立場

C. 発達障害の治療への取り組み

D. 治療方法の説明

III. 治療に必要な知識や理論

A. 身体の形成と栄養の補給

B. 障害への対応の基礎知識

IV. 統計、よくある質問、索引

A. 発達障害検査統計

B. よくある質問

【5月会計】

収入

献金	1,150,300
書籍・教科書	137,001
会費	177,000
広告	453,000
DVD/CD、ビデオ等	78,390
その他	74,385

2,070,076

支出

事務局経費	928,457
通信運搬費	130,223
交通費	17,868
印刷費	1,075,788
DVD仕入費	12,250

2,164,586

残高	-94,510
前期繰越	182,478
翌期繰越	87,968

【6月会計】

収入

献金	1,119,535
書籍・教科書	127,591
会費	154,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	142,468
その他	237,695

1,811,289

支出

事務局経費	1,339,295
通信運搬費	98,780
交通費	27,000
印刷費	578,907
DVD & 商品仕入費	25,445

2,069,427

残高	-258,138
前期繰越	87,968
翌期繰越	-170,170

☆尊い献金、会費の送金を、心から感謝いたします。



チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807 メール対応 FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com

『聖書がわかる 28 の素敵なお話』

無料プレゼント！

1 家族・教会 各 50 冊まで無料です！（郵送手数料はご負担ください）
数に限りありますのでお早めに！

大好評、6 回目の追加入荷できました！ 今回から、3 巡目のお申し込み OK となりました。既に 1 回、ご利用された皆さんも、3 巡目、お申し込みください！

アメリカの TGS インターナショナルの皆さんからの支援で、『聖書がわかる 28 の素敵なお話』が日本聖書配布協力会より刊行され、チア・にっぽんメンバーの皆さんにも、無料でプレゼントされることになりました。聖書そのものともいえる、とても素晴らしい作品です。今回、1 家族・1 教会／団体、50 冊まで、無料で送らせていただきます（送料＆手数料 800 円のご負担をお願いします。数に限りがありますので、お早めに！）

TGS インターナショナルの皆さんは、東日本大震災の支援で、日本聖書配布協力会の皆さんの支援活動に共鳴し、義捐金をサポートしつつ、支援活動を送っていました。その後、日本での伝道展開への一助として、コンサイスバイブルの印刷・無料配布等の支援を行い、さらに、『聖書がわかる 28 の素敵なお話』の印刷・無料プレゼントへと支援の輪が広がっていきました。

このプロジェクトには、チア・にっぽんにも声がかかけられ、翻訳、編集・校正の依頼をいただきました。実際に作品を読んでもみると、聖書そのものという感じで、伝道のためにも、あるいは、お子さんたちと一緒に読んでいくためにもとても良き本であると思い、引き受けさせていただきました。

翻訳は、『ナザレのイエスは神の子か』（リー・ストローベル）シリーズ等で素晴らしい訳をされている峰岸麻子さんが主に担当してくれました。私たちも編集させていただきながら、本書の聖書のみことばやストーリーに何度も励まされました。

対象年齢は、小学校中・高学年から中学生としていますが、それより低年齢の子どもたちでも十分、対応できるようにフリガナもあり、また、大人でも、深く心に染み入り、励まされる作品です。伝道用や、信仰の成長のためにも最適です。

この機会をぜひご利用くださったらと、心から推薦させていただきます。TGS インターナショナル、そして、日本聖書配布協力会の皆さんに心から感謝しつつ、日本での聖書に立った霊的なムーブメントが一層、祝福されていきますように、心から祈ります。

『聖書がわかる 28 の素敵なお話』を通しての皆さんへの祝福を心から祈っています。

チア・にっぽん 稲葉 寛夫



《 オーダーシート 》

→ FAX 03-6862-8648

→ メール office@cheajapan.com

■ 希望冊数（上限 50 冊まで）（ ）冊

■ お名前（ ）

■ ご住所（〒 ）

■ TEL（ ）